



人類に
奉仕する
ロータリー



守口ロータリークラブ 週報 No. 30



ほほえみの松尾副会長

水 と 衛 星 月 間

2016~17・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1. 早春賦 2. ビギン・ザ・ビギン 3. アル・ティラ

本日例会 2017年03月01日(水)
(第2707回)

「夢ある守口へ
～税金のはらいがいのあるまちに」
守口市 副市長 中村 誠仁 氏
担当：会員増強委員会

次回例会 2017年03月08日(水)
(第2708回)

「 空き家大国ニッポン 」
水谷行政書士事務所
行政書士 水谷 秀志 氏
担当：ロータリー情報委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
02月22日	33 (内免除者2名)	8	80.49%【会員43名】
02月08日	33 (内免除者2名)	メークアップ1名 (80.49%)	

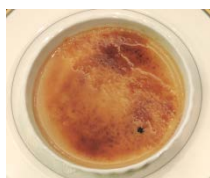


前回例会 (2706回) 2/22 の主な内容

◎ゲストご紹介
遠島 光顕様 (守口RAC)



◎守口市長より守口市市制70周年記念花火大会実行委員としての感謝状を戴きました。



ニコニコBOX S・A・A

- 石井 会員 クリスマスの写真、ハッキリと撮れており、カメラマンの方々に感謝します。
- 石橋 会員 ちよっと嬉しい事がありました。
- 吉川 会員 ○本日、例会終了後、ユニットリーダー会議を行います。ユニットリーダーの皆さん宜しくお願いします。
○会員増強、宜しくお願いします。まずは、例会への見学出席をお願いします。
- 他谷 会員 卓話させていただきます。
- 三宅 会員 博多先生、先日は娘二人を診察して頂きありがとうございました。

02/22ニコニコBOX 862,000円

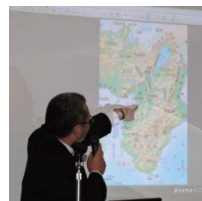
■ 会 長：三 浦 均
■ 幹 事：石 谷 隆 子
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間 (会長 三浦 均)

卓 話 広報雑誌・会報委員会

他谷 勝 委員長



「梅にウグイスの本当の意味」

各地で梅の便りが聞こえる頃となりました。そして梅と並んで春の代名詞と言える鳥としてウグイスは「春告鳥」といわれ、「ホーホケキョ」と春を知らせる鳴き声を聞くと幸運が訪れるといわれる縁起の良い鳥です。

ちなみに、なぜホーホケキョと鳴くのかはご存じでしょうか。実はホーホケキョと鳴くのはオスのみで、春から繁殖期の終わる秋頃まで聞くことができます。メスへの誘いと外敵への威嚇の意味があり、メス及び繁殖期以外のオスは「チャッチャツ」と小さい声で地鳴きをします。

ところで、そんなウグイスはどんな姿をしているのかお分かりでしょうか。多くの方が梅の木に留まる鮮やかな若草色の鳥を思い浮かべられたのではないかとおもいます。実はその鳥はウグイスではなくメジロです。実際のウグイスは体長15cm程で褐色がかかった緑色をしています。対してメジロはウグイスよりもひとまわり小さく12cm程度で目の周りが白く、前述したような濃い黄緑色をしています。鳴き声としても、美しいさえずりも聞かれるものの「チーチー」という地鳴きが多く、ウグイスほど特徴的ではありません。

加えて、ウグイスは虫を食べることが多く、人への警戒心も強いのであまり梅の木には留まりませんが、メジロは花の蜜が大好きで、比較的人間にも慣れているので、頻りに梅の木に留まる姿を目にすることができると思います。その風貌でいえば、華やかな紅色の梅に愛らしい緑色をしたメジロの方がしっくりくるかもしれません。ではどうして「梅にウグイス」と昔からいわれるのでしょうか。梅の木に留まるメジロ、その中で聞こえてくるウグイスの鳴き声によってメジロをウグイスと勘違いしてしまったとよく言われていますが、もう一つ奥深い一説があります。「梅にウグイス」とは単に梅にウグイスが来るという意味ではなく、取り合わせの良い二つのもの、美しく調和するものの例えです。また、そもそも昔の方々の暮らしは今よりも格段に自然と共存しており、いくら警戒心が強いといえどもウグイスを目にする機会も多く、メジロとも区別できていたはずですが。

つまり、互いに春を象徴する代表格でありながら、対になる様子自体は滅多に見られない光景であることから敢えて取り合わせることでより春の美しさを表現していたのではないのでしょうか。昔の方々のそんな温かな思いをこれからも大切にしていきたいですね。

「古代史の異説」

(～本文は次ページに掲載～)

◎幹事報告 (幹事 石谷 隆子)

○2017～18年度ロータリー手帳の申込は本日締切りです。

○J: Comeさんの「デイリーニュース北河内」で、先日おこなわれました中島会員のお琴の出前授業が採り上げられました。3月15日(水)の夜例会でDVDの放映をします。



◆◆◆委員会報告◆◆◆

親睦活動委員会 (三宅委員長)

○守ロイブニングR.Cとの合同ゴルフコンペご案内
日程: 2017年4月20日(木)

場所: ゴルフクラブ四条畷

○守ロイブニングR.Cとの合同ゴルフコンペご案内
日程: 2017年4月22日(土)

場所: 城陽カントリー倶楽部

守ロロータリーアクトクラブ (遠島RAC会長)

第2回地区献血のご案内

日時: 2月26日(日) 10:00～16:00

場所: 【なんば、梅田、京橋、くずは、大日】

◆◆◆委員会だより◆◆◆

ユニットリーダー会議

日時: 2月22日(水) 13:40～

場所: 「事務局」出席: 9名

議題: 会員増強、今迄の経過報告

◆◆◆第3回新理事会だより◆◆◆

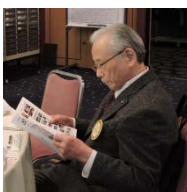
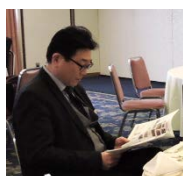
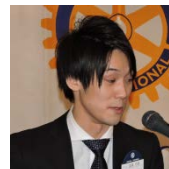
日時: 2月22日(水) 11:30～

場所: 「事務局」出席: 12名

議題: 2017～2018年度各委員会・委員委嘱の件

・2017～2018年度予定表の確認

・2017年度決議審議会 決議案提出について



卓 話

「古代史の異説」

藤原氏

興福寺・氏寺として有名。ほかに長谷寺も有名。
多武峰・談山神社：昔は興福寺と仲悪かった。僧兵が襲撃し闘争も。
藤原氏族一覧

関 裕二 アマチュア古代史研究者

正体不明、著書多数 S34生れ
蘇我氏への思い入れが強すぎ、アンチ藤原氏が極端で感情的なのが難。
藤原氏がやってきたことは、蘇我氏も多分それ以前の古代人もやってきたことの繰り返し。
蘇我氏は途中で潰され、藤原氏は大成功しつづけた。判官びいき。
それを別にすると、説自体にはとても説得力感じる。

1 乙巳の変（いっしのへん）645、大化の改新

（通説）蘇我氏が天皇家をないがしろにやりたい放題。正義の人、中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我入鹿誅殺し蘇我氏は滅亡して歴史から消えた。以来、中大兄皇子と中臣鎌足が大化の改新を推進し、天皇中心の律令体制を完成させた。のちに皇子は天智天皇として即位。鎌足は、藤原氏となり子々孫々天皇家を支えて長く日本を統治した。

（関説）蘇我氏の全方位外交・律令推進政策に対する反対勢力による宮廷内抗争事件

(1) 物部氏

吉備・丹波・東海・出雲など多数氏族の連合体を形成、共同で祭祀を祭る中心として大和に天皇家を擁立。
吉備をバックにした分家・出先が、物部氏となった。
天磐船に乗り河内へ 本拠地は八尾
大和平野西部 斑鳩・法隆寺あたりへ進出 大和政権支える有力豪族に。

(2) 蘇我氏

氏族自体は渡来系ではないと。御所あたり、葛城氏・紀氏らと近い関係。
本貫は葛城と主張。配下に渡来人集団を多数支配。
継体天皇に付いて越または近江から来たか
技術力・大陸由来の高度な文化を保持、力貯え。
天皇家の外戚になって最大の政治力権威を持つ氏族に。

(3) 聖徳太子 厩戸豊聡耳皇子（うまやどの とよとみみの みこ）

藤原氏が日本書紀を編纂。天武天皇が命じて開始したが、完成は死去後。藤原氏に都合の良い歴史に。
蘇我氏を悪者にしたため、良い面を抽出し蘇我系王子の一人に凝縮した。
法隆寺 太子鎮魂＝物部氏・蘇我氏 鎮魂

(4) 乙巳の変645

皇極天皇35 即位642
蘇我氏の全方位外交・律令推進政策に対する反対勢力による宮廷内抗争事件
推進派首領 蘇我入鹿 暗殺 本家滅亡
蘇我倉山田石川麻呂 分家が本家を継承
中臣鎌足 親百済路線を支持、百済王子説
百済王子 豊璋（ほうしょう）仮説

(5) 難波の宮遷都 645

孝徳天皇36 即位645
全方位外交、律令推進路線
蘇我倉山田石川麻呂 をブレインに
中大兄 反全方位外交反律令の反動勢力、親百済路線
蘇我倉山田石川麻呂 を殺害 大化5（649）塩漬け首 遠智娘発狂
孝徳 置き去り死去

(6) 飛鳥板蓋の宮 遷都 655

齊明天皇37 即位655

(7) 百済滅亡660

百済王子 豊璋（ほうしょう）再来日、百済再興計画、白村江の大敗663、 豊璋やむなく土着。藤原氏

(8) 大津京667

天智てんじ天皇38即位668、子が弘文天皇39 即位671

・・・次回へ続く（次回があれば）。